

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	集合住宅遮音設計指針刊行小委員会		主 査 名：田端 淳 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：佐土原 聡
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	目的：AIJES 集合住宅遮音設計指針の作成 活動計画 初年度： ・ AIJES 集合住宅遮音設計指針の CD 作成、内部査読、外部査読①、DS の作成、 シンポジウムの開催、パブコメ募集 2 年度： ・ FDS の作成、外部査読②、出版、講習会開催		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：田端淳 (大成建設) 幹事：渡辺充敏 (大林組)， 峯村敦雄 (鹿島) 委員：岡野利行 (竹中工務店)， 河原塚透 (大成建設)， 嶋田泰 (三井住友建設)， 中川清 (音工学研究所)， 濱田幸雄 (日本大学工学部)， 平松友孝 (音・環境研究所)， 宮島 徹 (清水建設)， 村石喜一 (音・環境研究所)， 吉村純一 (小林理学研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(初年度)、 9 回 (2 年度) (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第73 回音シンポ「集合住宅の遮音性能規準(案)と遮音設計指針(案)」 参加者数 110 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. パブリックコメントの実施
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 外部査読②の実施に時間を要したことにより、本委員会設置期間内の AIJES の出版に至らなかった。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 集合住宅遮音性能規準刊行小委員会との合同委員会を多く開催する必要がある、委員会の進め方に苦慮した。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\* 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

## 2013 年度 小委員会活動 自己評価

### (最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	Ⓑ	C	D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>音環境運営委員会では、環境工学委員会の意向に基づき、音環境に係る日本建築学会環境基準の作成作業を継続的に進めている。今回は「集合住宅の音環境性能規準」と「集合住宅の音環境設計指針」を対象として刊行作業を行った。</p> <p>本小委員会は、上記のうち「集合住宅の遮音設計指針」の刊行を目的とした。初年度は、CD 作成、内部査読、DS 作成、シンポジウムの開催を実施。</p> <p>2 年度は、パブコメ募集、FDS 作成、外部査読②を実施。</p> <p>当初の予定では、2 年度に出版、講習会（いずれも 2014.03）を行う予定であったが、外部査読②の実施が遅れたため、当初の予定を延期することとなった。</p> <p>現在、外部査読②を終了し、ES 作成を行っており、2014 年 10 月頃に出版、講習会を行う予定である。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。